

施策3-1-1 望ましい生活習慣の定着

担当課 健康推進課

施策が実現できたときの状態について、平成26年度での到達状況

【概ね達成した】

- 健康は自己実現を図るための重要な条件の一つであり、「自分が健康である」という主観的な健康感、生活する上で非常に大切です。「自分は心身ともに元気であると感じている人の割合」は、平成26年度は59.5%と成25年度の56.3%より3.2%増加し、元気にいきいきと暮らしている市民が増加しています。(地域社会に関するアンケート調査)
- 「健康保持のために何らかの活動をしている人の割合」は、平成26年度は51.4%と成25年度の47.8%より3.6%増加し、望ましい生活習慣の定着に向け、約半数の方が主体的な健康づくりに取り組んでいます。
- 健診は、自分の健康づくりを進めるための第一歩です。「健診結果や指導事項を、自分なりに生活の中に生かしている」人の割合は、平成25年度73.6%が平成26年度は77.2%と3.6%増加しています。(地域社会に関するアンケート調査)
- 各種がん検診においては、48人の方にがんが発見され、適切な治療に結びついています。精密検査の受診率100%をめざし、文書や電話、家庭訪問による受診勧奨を行いました但未達成でした。
- 生活習慣を改善し、望ましい生活習慣の定着を目的に各地域において、健康づくり支援者を中心に健康教室を開催し、「健康」をキーワードとした地域づくりが行われました。
- 休日や夜間の在宅救急当番医制事業及び二次救急医療事業が継続され、地域の医療が確保されました。

3カ年方針のうち、平成26年度の重点課題の達成(実現)状況

【一部達成した】

- 自分の健康づくりの第一歩である各種がん検診は、子宮がん検診、乳がん検診において前年度より受診率が低下しました。また、精密検査の受診率は、100%には届きませんでした。
- 健康づくり支援者とともに、地域での健康づくりを積極的に実施しました。健康づくり支援者が企画して実施した健康教室は、86回、参加者は延2,445人でした。また、30自治会すべてで実施することができました。(昨年度は、29自治会で実施)

施策目標の達成(実現)に向けた3カ年の取組みと方針についての達成(実現)状況

【一部達成した】

- がん検診において、子宮がん検診、乳がん検診以外は受診率が昨年度より向上しました。
- がん検診は、精密検査の受診率が100%になってはじめて検診の目的が達成されたものと考えます。それをめざし、文書や電話、家庭訪問での受診勧奨を行いました但未達成でした。
- 食事、運動等の望ましい生活習慣定着のため、健康づくり支援者とともに地域で健康づくり事業を通して必要な情報の提供に努めました。

施策目標値の達成状況

